

決算の概要

● 特別利益への退職給付制度改定益の計上などにより、中間純利益は前年同期比5.2%の増益。

(単位：百万円)	18/9期	19/9期	増減額
業務粗利益 ①	27,869	28,953	1,084
資金利益	24,812	24,931	119
役務取引等利益	4,628	4,902	273
その他業務利益	▲1,572	▲880	691
うち国債等債券損益 ②	▲231	1,474	1,705
一般貸倒引当金繰入額 ③	-	35	35
経費 ④	20,549	20,909	360
業務純益 ①-③-④	7,319	8,009	689
コア業務純益 ①-②-④	7,550	6,569	▲980
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	6,751	6,163	▲588
臨時損益	1,439	▲1,060	▲2,500
うち不良債権処理額 ⑤	54	521	466
うち貸倒引当金戻入益 ⑥	105	-	▲105
うち株式等関係損益	1,461	▲752	▲2,214
経常利益	8,758	6,948	▲1,810
特別損益	▲38	2,311	2,349
税引前中間純利益	8,720	9,259	538
中間純利益	6,522	6,863	341
与信関係費用 ③+⑤-⑥	▲51	556	607

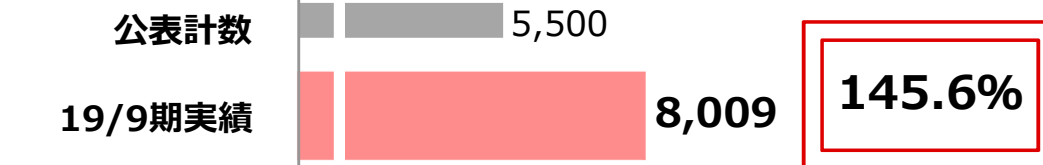
■ 業務粗利益

(単位：百万円)

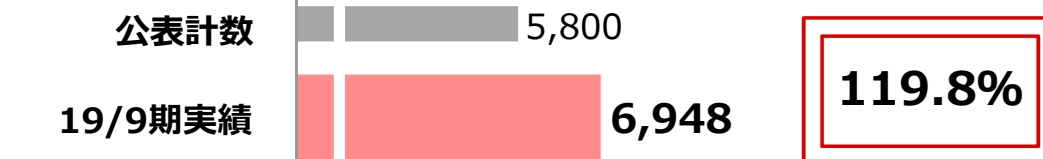
19/5公表計数
との対比



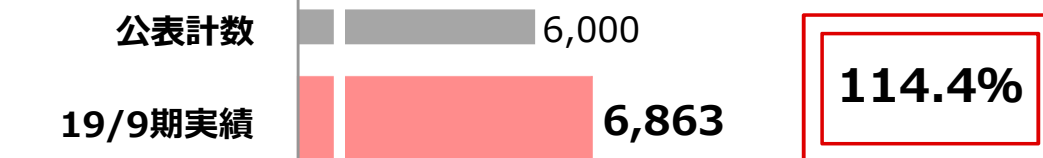
■ 業務純益



■ 経常利益



■ 中間純利益

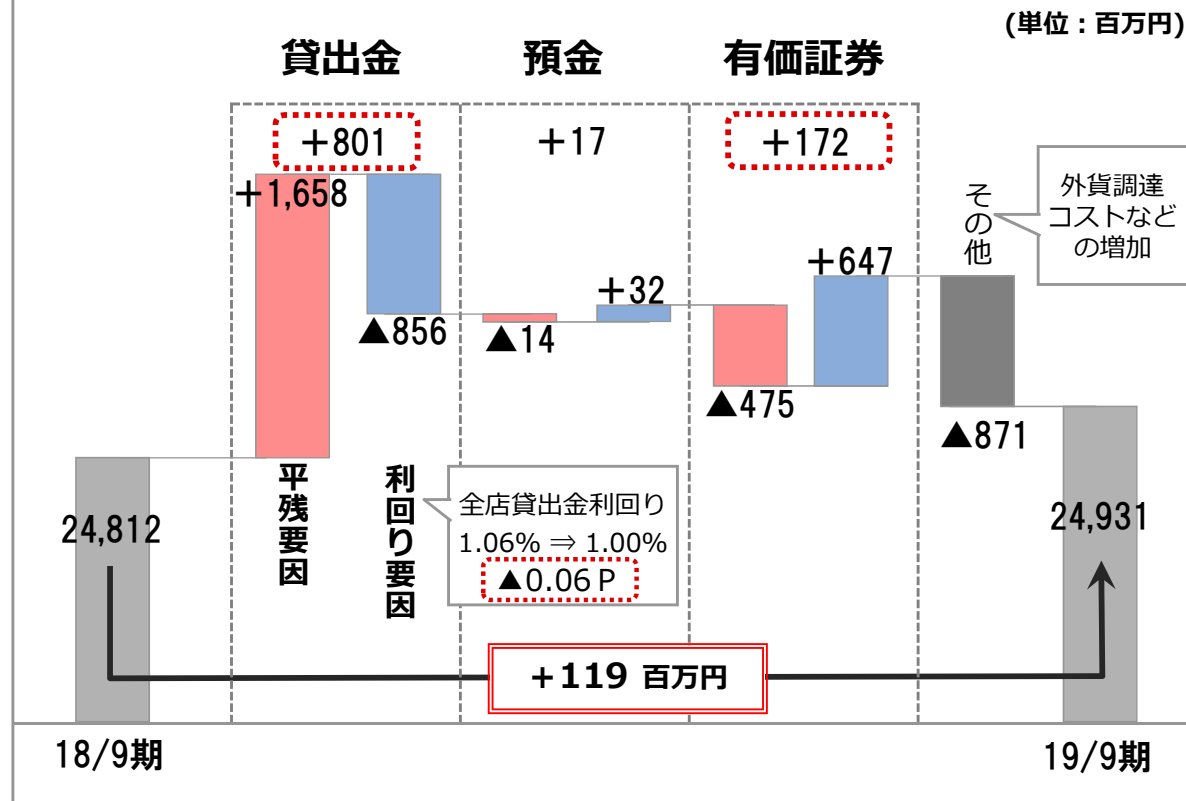


- ・その他業務利益の増加などにより、業務純益は増益。
- ・経常利益は減益も、退職給付制度改定益により中間純利益は増益。
- ・各項目とも5月発表の中間業績予想を上回っており、堅調に推移。

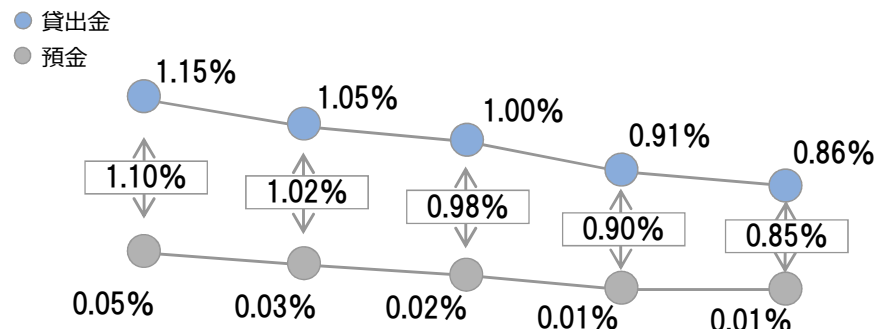
● 貸出金利息の増加などにより、資金利益は前年同期比0.5%増加。

(単位：百万円)	18/9期	19/9期	増減額
資金利益	24,812	24,931	119
資金運用収益	27,061	27,676	614
貸出金利息	16,692	17,493	801
有証利息配当金	9,672	9,844	172
その他	696	337	▲358
資金調達費用	2,249	2,745	495
預金利息	513	496	▲17
その他	1,735	2,248	513

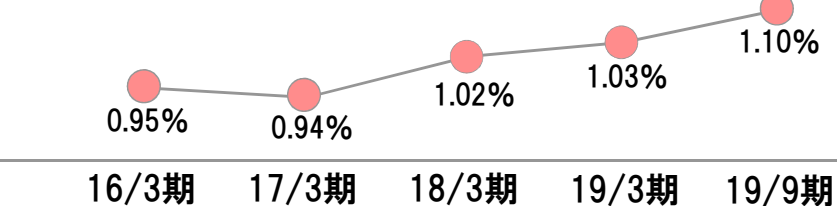
資金利益の増減要因 <全店 (国内業務部門・国際業務部門)>



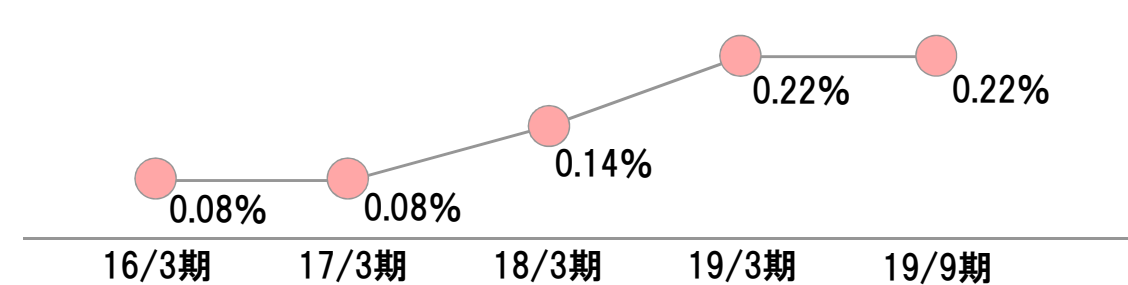
預貸金利回り差推移 (国内業務部門)



有価証券利回り推移 (国内業務部門)



総資金利鞘の推移 <全店 (国内業務部門・国際業務部門)>



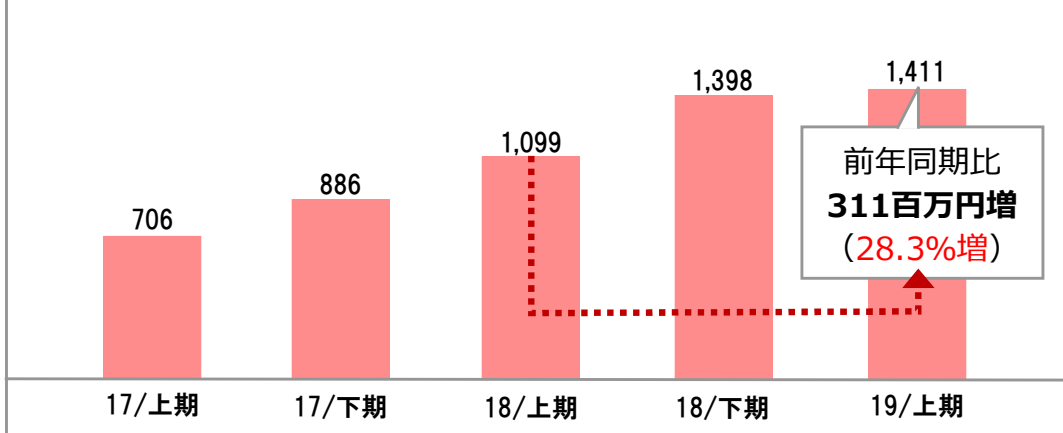
● 住宅ローン取扱手数料の増加などにより、役務取引等利益は前年同期比5.9%増加。

(単位：百万円)

	18/9期	19/9期	増減額
役務取引等利益	4,628	4,902	273
役務取引等収益	6,772	7,244	471
預り資産関連手数料	1,031	1,094	63
投資信託手数料	453	405	▲48
保険窓販手数料(※)	504	573	69
金融商品仲介手数料	32	65	32
確定拠出年金手数料	41	50	9
法人ソリューション手数料(※)	526	478	▲47
住宅ローン取扱手数料	1,099	1,411	▲311
役務取引等費用 (▲)	2,143	2,341	197
うち住宅ローン等支払保証料保険料(▲)	1,381	1,546	164

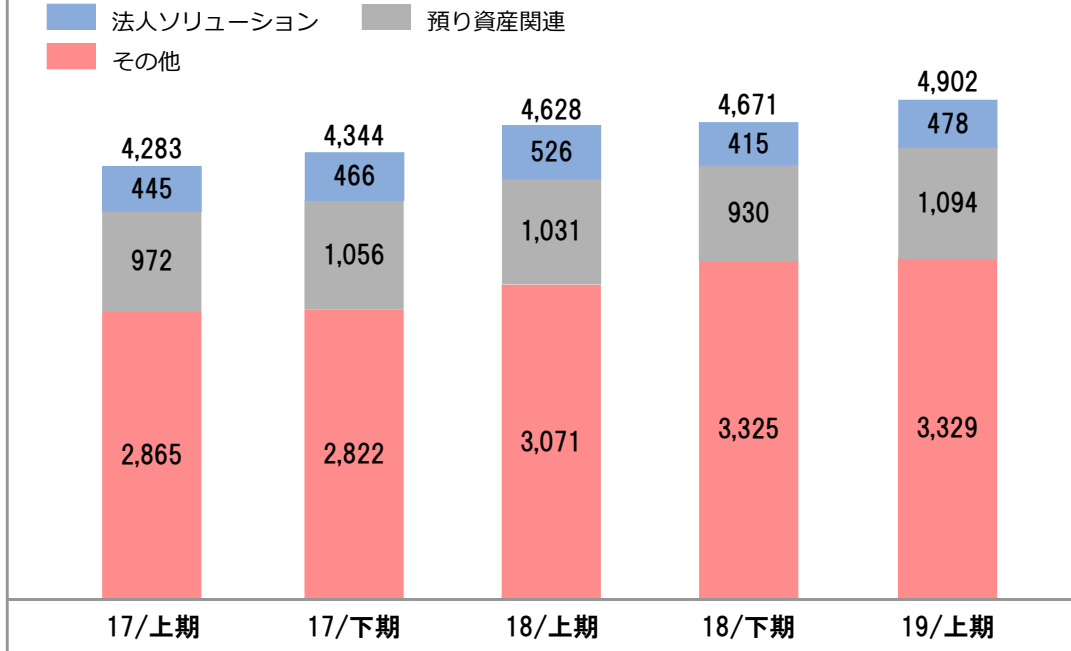
※ 事業性保険の手数料は、保険窓販手数料ではなく、法人ソリューション手数料に含めております。

住宅ローン取扱手数料 (単位：百万円)



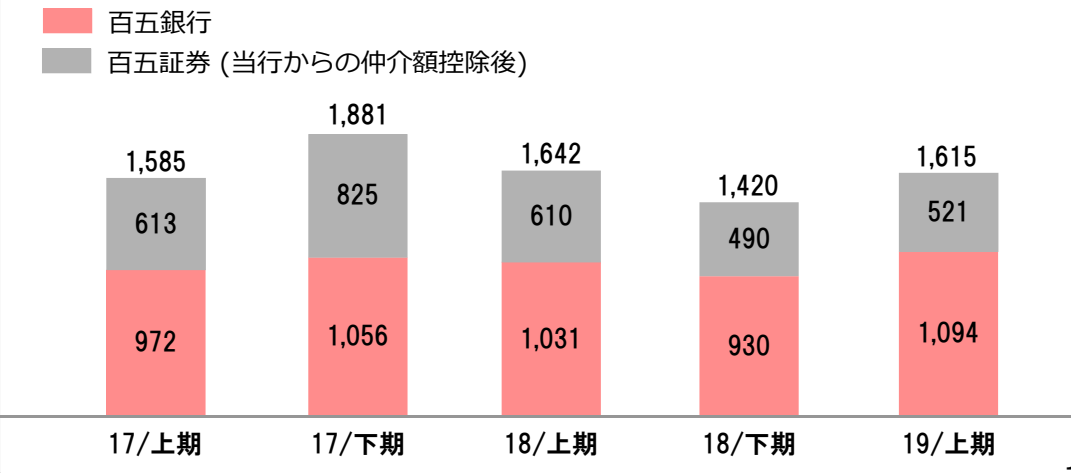
役務取引等利益グラフ (単体のみ)

(単位：百万円)



預り資産関連収益 (百五銀行+百五証券)

(単位：百万円)



● 物件費を中心に、経費は前年同期比1.8%増加。

(単位:百万円)

	18/9期	19/9期	増減額
経費	20,549	20,909	360
人件費	11,360	11,191	▲169
物件費	8,038	8,641	602
税金	1,150	1,076	▲73

経費の主な増加要因

● 物件費

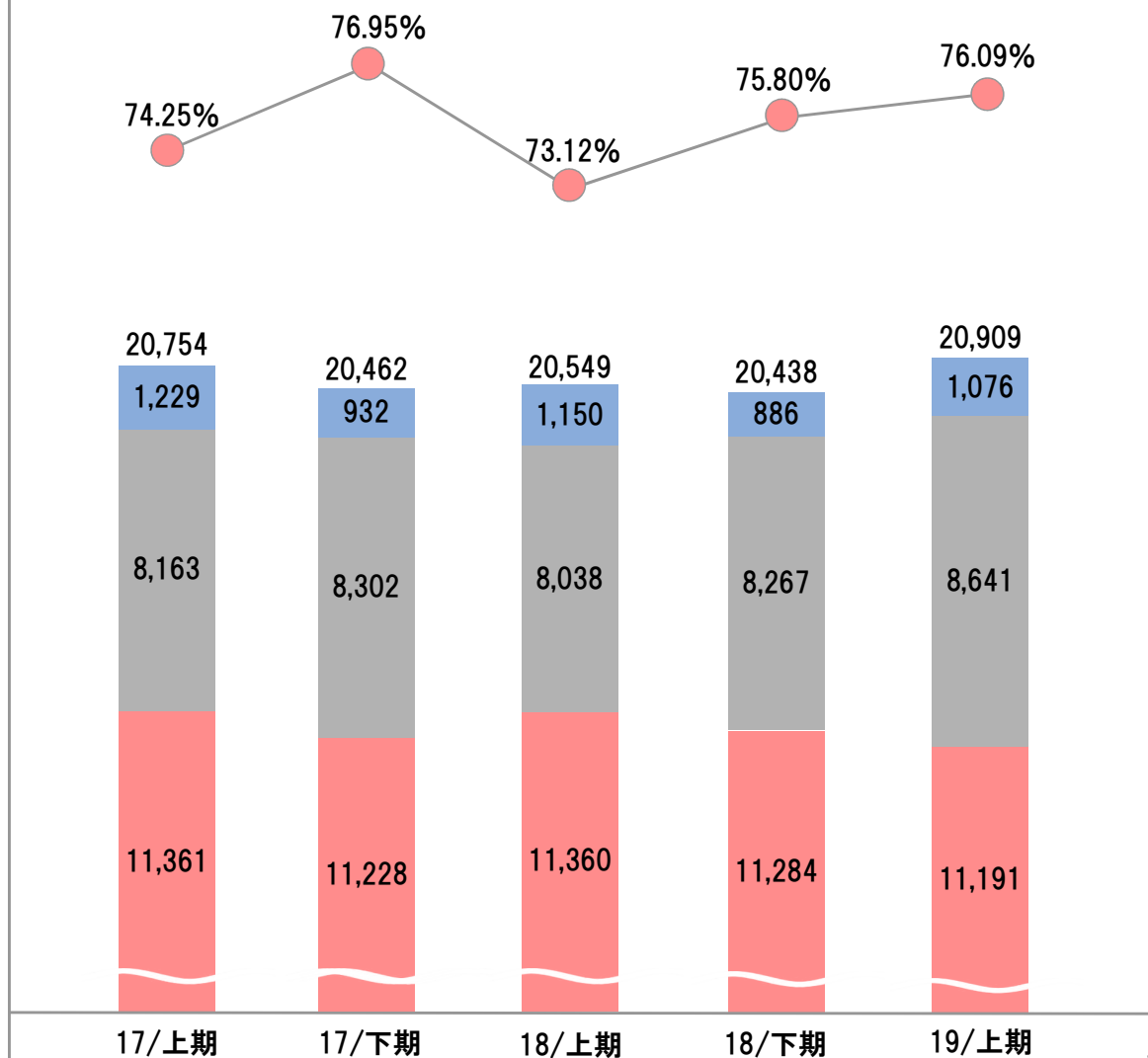
消耗品費 (PC・事務機器など) +172百万円

減価償却費 (営業店システムなど) +107百万円

経費とコアOHR

(単位:百万円)

■ 税金 ■ 物件費 ■ 人件費
● OHR (コア業務粗利益ベース)



● 一般貸倒引当金繰入額の増加などにより、与信関係費用は前年同期比増加。

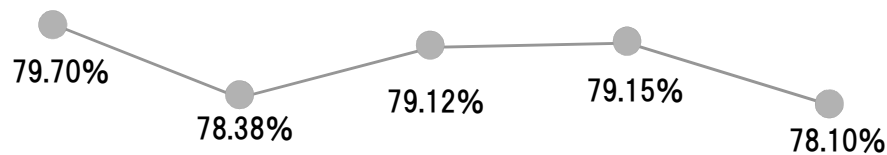
(単位：百万円)

	18/9期	19/9期	増減額
与信関係費用	▲51	556	607
うち一般貸倒引当金繰入額	(※) ▲714	35	749
うち個別貸倒引当金繰入額	(※) 608	520	▲88
うち債権等売却損	-	-	-
与信費用比率	▲0.00%	0.03%	0.03 P

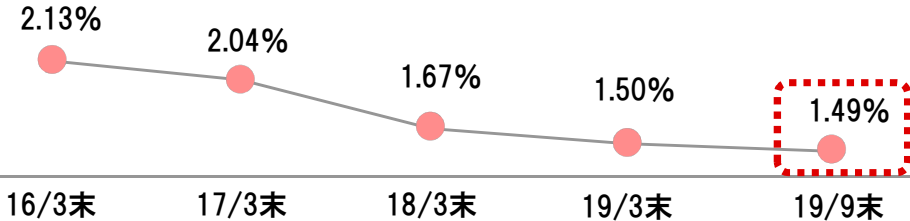
※貸倒引当金戻入益計上前

	19/3末	19/9末	増減額
不良債権額	52,250	53,343	1,092

不良債権カバー率



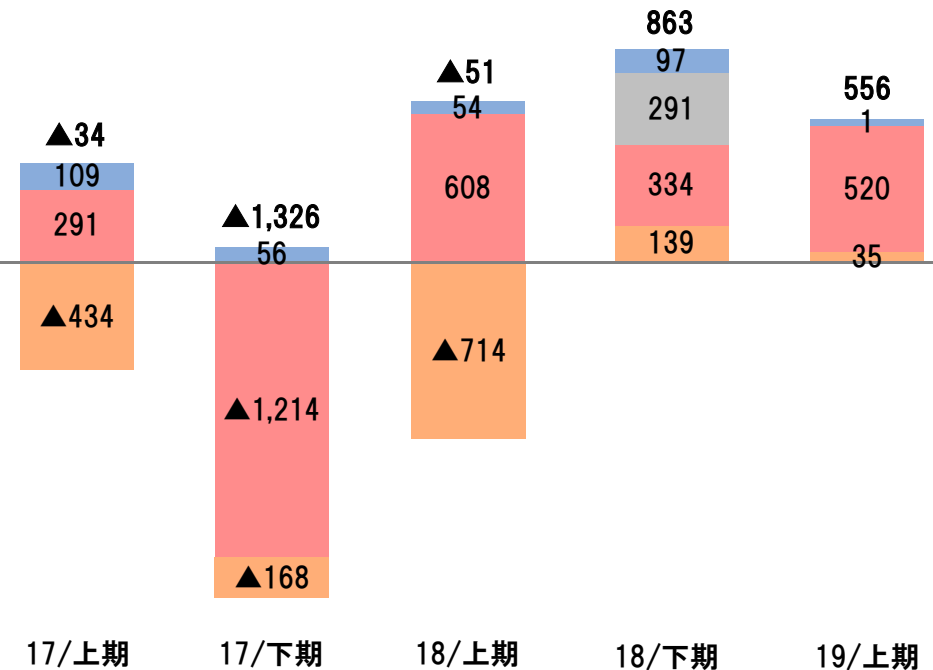
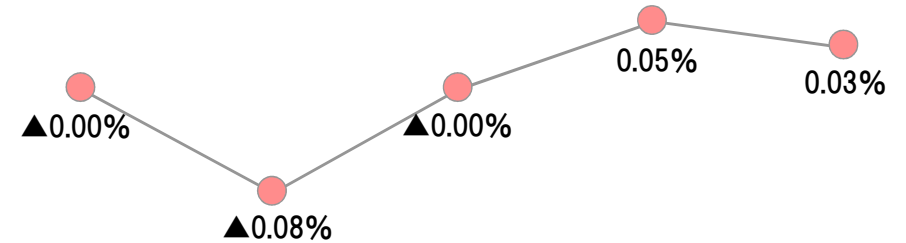
不良債権比率



与信関係費用 (単体)

(単位：百万円)

■ その他
■ 債権等売却損
● 与信費用比率
■ 個別貸倒引当金繰入額
■ 一般貸倒引当金繰入額



● 個人預金・法人預金ともに堅調に推移し、総預金は前年度比2.4%増加。

(単位：億円)

	19/3期	19/9期	増減額
総預金（平残）	49,929	51,139	1,210
三重県	44,687	45,844	1,156
愛知県	4,973	4,999	25
東京・大阪	267	295	27

(単位：億円)

	19/3期	19/9期	増減額
個人預金（平残）	36,979	37,636	↑ 656
三重県	34,271	34,808	537
愛知県	2,688	2,806	117
東京・大阪	20	21	1

(単位：億円)

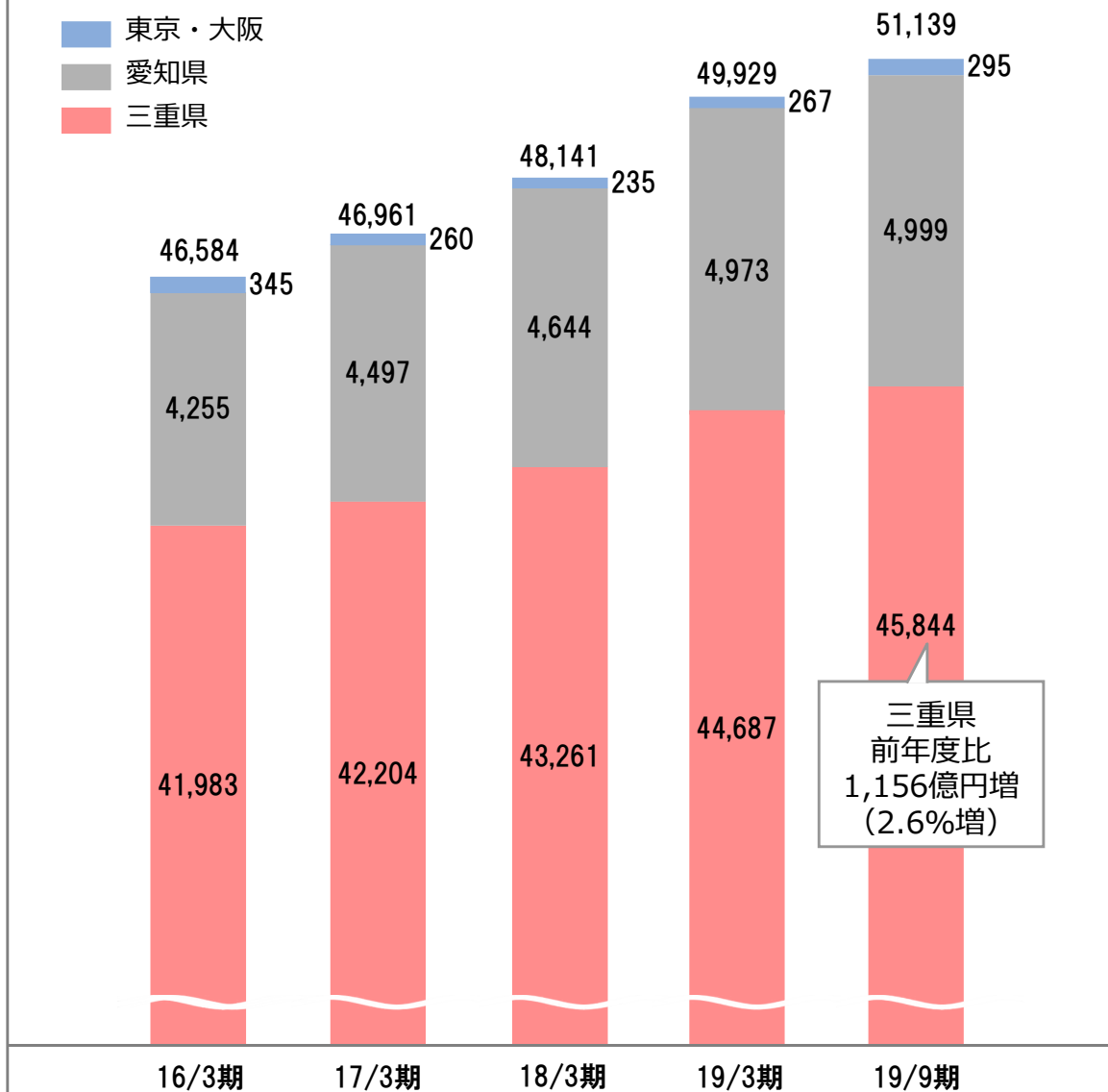
	19/3期	19/9期	増減額
法人預金（平残）	10,244	10,555	↑ 311
三重県	7,974	8,231	256
愛知県	2,025	2,053	28
東京・大阪	244	271	26

* 三重県には新宮・インターネット店舗を含む

総預金（平残）

(単位：億円)

■ 東京・大阪
■ 愛知県
■ 三重県



● 住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したことなどから、貸出金は前年度比6.9%増加。

(単位：億円)

	19/3期	19/9期	増減額
総貸出金 (平残)	32,462	34,688	2,225
三重県	16,499	16,901	401
愛知県	9,272	10,563	1,291
東京・大阪	6,691	7,223	532

(単位：億円)

	19/3期	19/9期	増減額
中小企業向け貸出(平残)	11,994	12,389	394
三重県	7,033	7,106	73
愛知県	3,124	3,297	172
東京・大阪	1,835	1,985	149

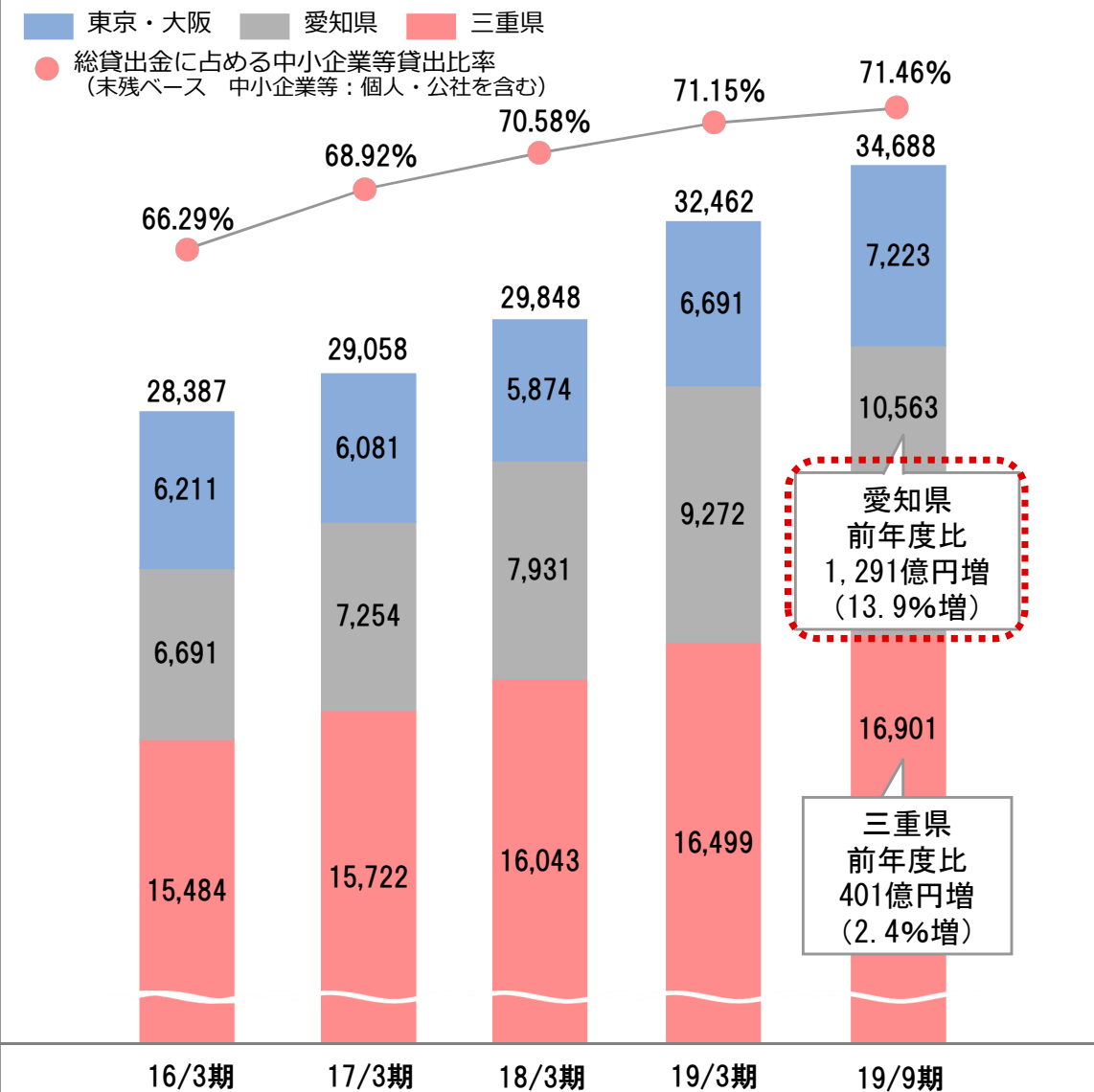
(単位：億円)

	19/3期	19/9期	増減額
住宅ローン (平残)	10,258	11,684	↑ 1,425
三重県	5,743	6,120	376
愛知県	4,514	5,564	1,049

* 三重県には新宮・インターネット店舗を含む

総貸出金 (平残)

(単位：億円)

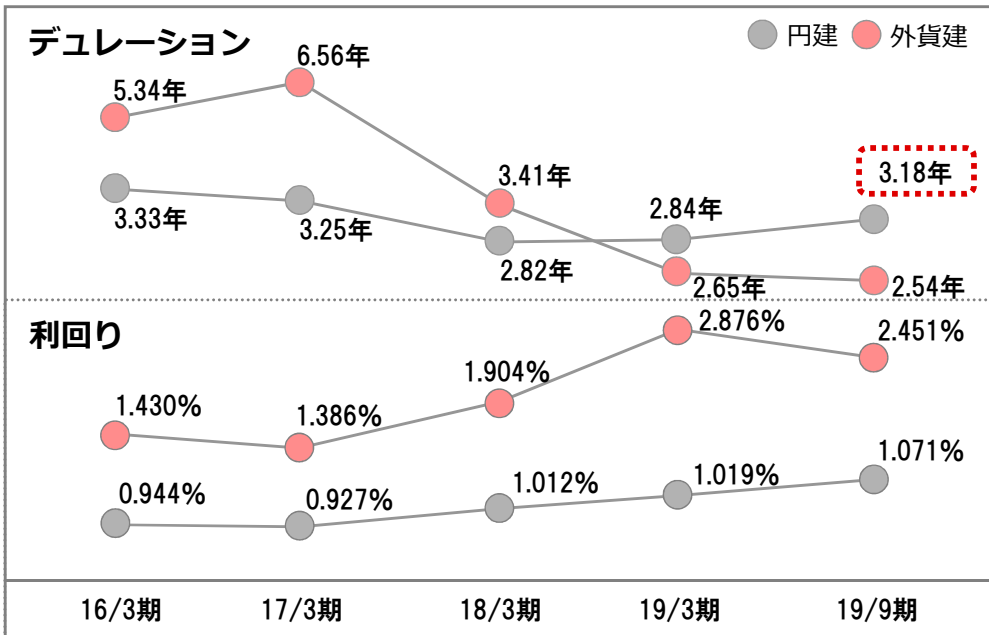


● 株式や投資信託を中心に、有価証券評価損益は前年度末比5.9%増加。

(単位：億円)	19/3末	19/9末	増減額
有価証券残高	17,414	17,691	276
国債	5,416	4,680	▲736
地方債	3,653	3,813	159
社債	3,362	2,832	▲530
株式	1,826	1,838	12
投資信託	1,319	1,330	10
外国証券	1,792	3,151	1,358
その他	42	45	2

円建平残額(*)	16,098	14,343	▲1,754
外貨建平残額(*)	826	1,766	939

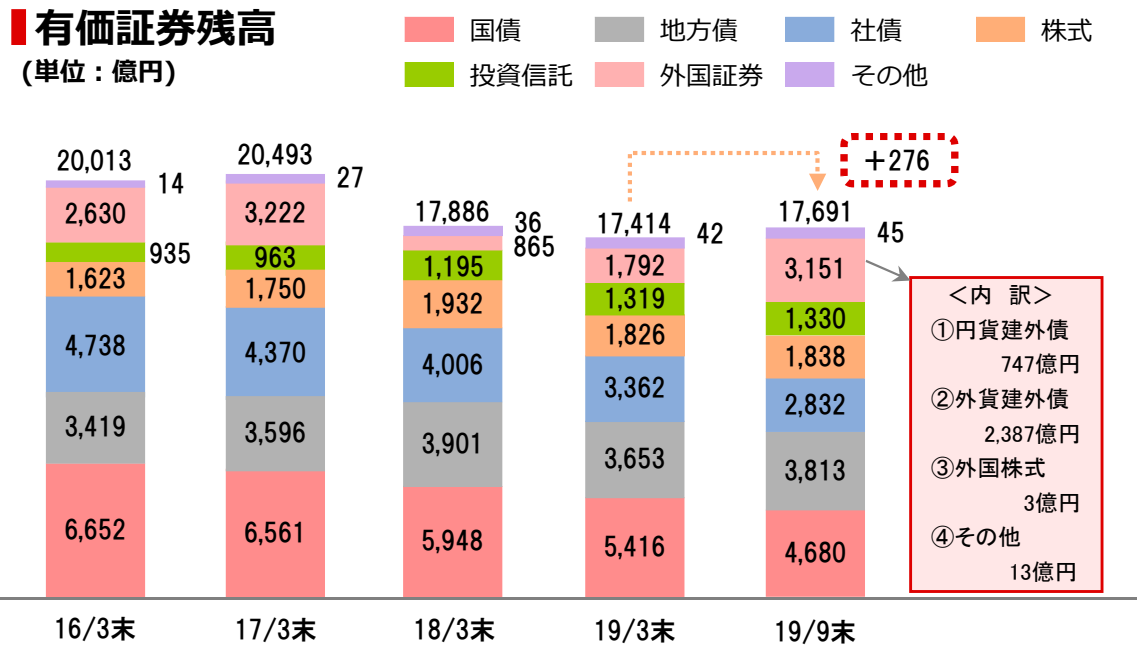
■ デュレーション・利回り(*)



* 信託受益権を含む

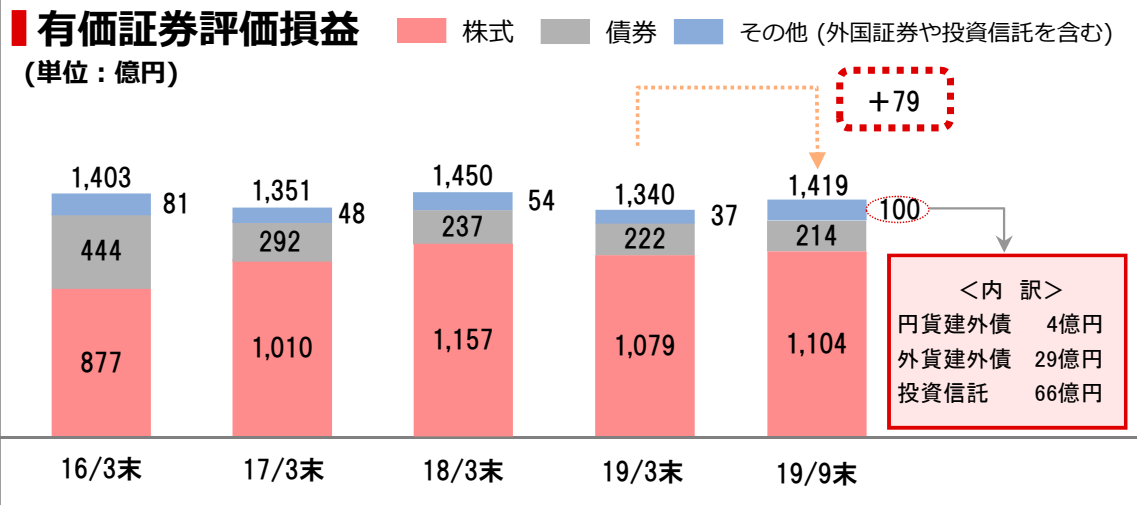
■ 有価証券残高

(単位：億円)



■ 有価証券評価損益

(単位：億円)



- 利益計上などによる自己資本の増加から、前年度末比0.14ポイント上昇。

(単位：億円)

信用リスクアセット額 算出方法	基礎的内部格付手法		
期間	18/3末	19/3末	19/9末
自己資本 (自己資本比率算出用)	2,244	2,285	2,322
リスクアセット	21,839	23,458	23,497
自己資本比率	10.27%	9.74%	9.88%

株主資本	2,443	2,530	2,587
------	-------	-------	-------

信用リスクアセット額算出方法：基礎的内部格付手法
オペレーショナルリスク額算出方法：粗利益配分手法

基礎的内部格付手法取得の効果

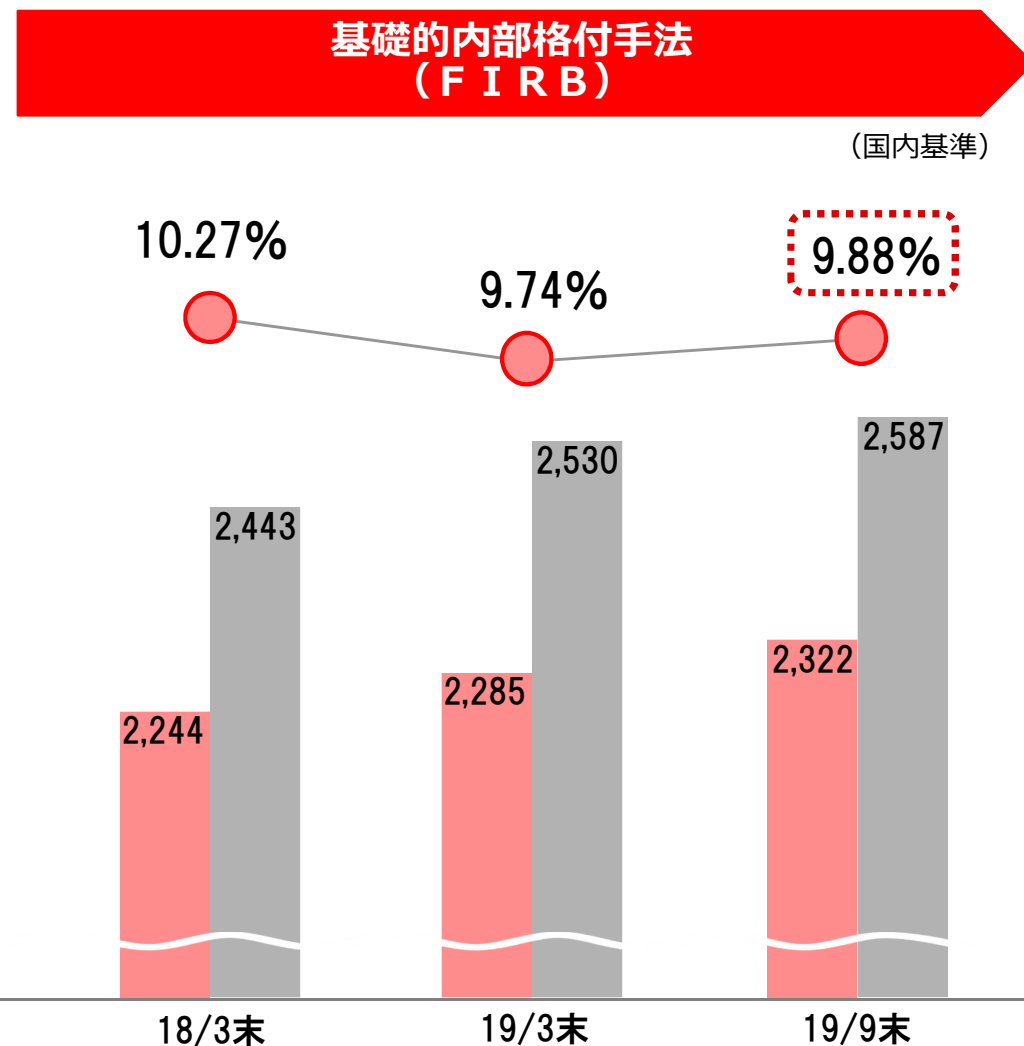
リスク管理・自己資本管理の高度化

資産の
健全性向上

金融仲介機能の
さらなる強化

自己資本・株主資本・自己資本比率の推移 (単位：億円)

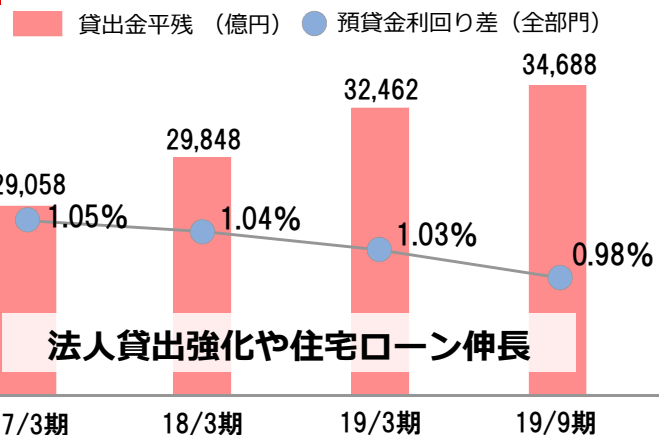
■ 自己資本 ■ 株主資本 ● 自己資本比率



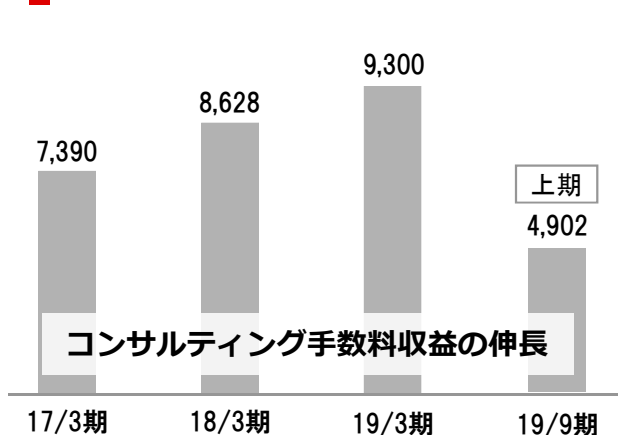
● 顧客向けサービス業務利益は2018年度に黒字転換し、さらに伸長する見込み。

顧客向けサービス業務利益の黒字化

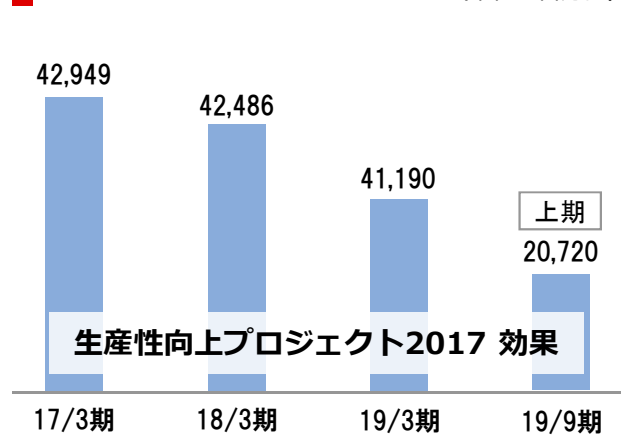
貸出金平残と預貸金利回り差の推移



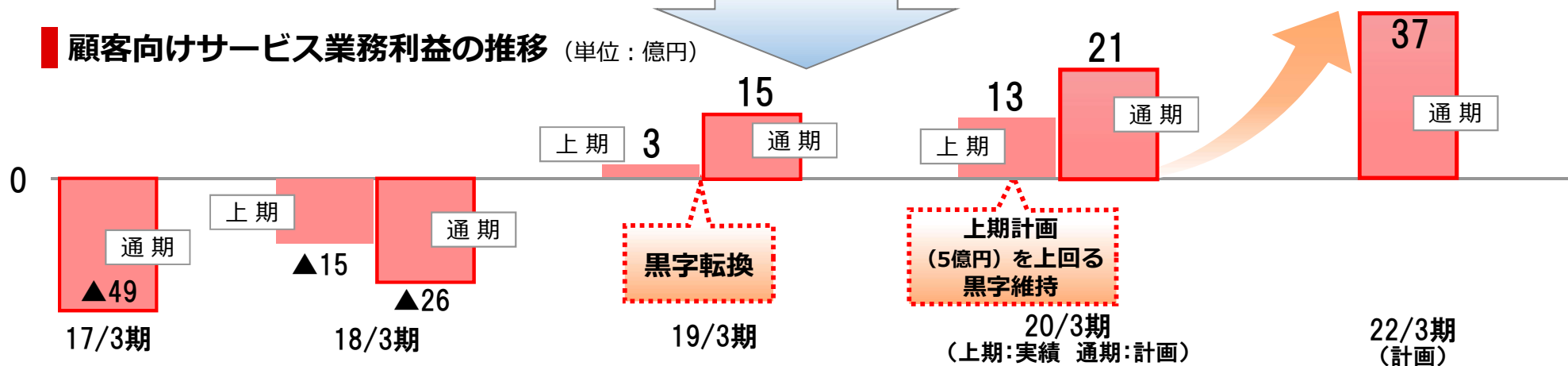
役務取引等利益の推移 (単位：百万円)



営業経費の推移 (単位：百万円)



顧客向けサービス業務利益の推移 (単位：億円)



顧客向けサービス業務利益

貸出金平残 × (貸出金利回り - 預金等利回り) + 役務取引等利益 - 営業経費 (臨時損益の退職給付費用等含む)

● 上期実績を踏まえ、2019年度の通期予想を上方修正。配当は創立140周年記念配当を含めた前年度水準を維持。

決算予想 (単体)

(単位：百万円)

※2019年11月8日公表

	20/3期 (当初公表)	20/3期 (上方修正)
業務粗利益	52,700	55,300
資金利益	50,000	48,600
役務取引等利益	9,100	9,400
その他業務利益	▲6,400	▲2,700
業務純益	10,600	13,400
経常利益	11,000	12,700
当期純利益	9,600	10,900
親会社株主に帰属する 当期純利益 (連結)	10,000	11,000

配当予想

中間期	期末	年間
4.50円	4.50円	9.00円